



全国保健師長会 ニュース

令和6年9月理事会議

発行No.2

令和6年度 第2回理事会報告

令和6年9月28日（土）に第2回理事会をAP東京八重州会場およびZoomでのハイブリット会議で開催いたしました。

1 開会 前田会長あいさつ

（前田会長は北海道ブロック研修出席のため、河西副会長が代読）

ようやく秋の訪れを感じられるようになってまいりました。

一方、全国各地で豪雨が発生しております。先週、能登半島北部などを襲った豪雨において被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

被災された方々はもちろん、健康支援活動に御尽力されている皆さまも、どうぞ、ご自身の心と体を大事になさってください。皆さまのご健康が守られ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、私たち行政保健師の保健活動は、平成25年4月19日付け厚生労働省健康局長通知「地域における保健師の保健活動について」に基づき、実施してまいりました。

指針の改正から10年以上が経過し、昨年度は指針の評価がなされ、2040年に向けた課題として、「地域に軸足を置いた取組のより一層の推進」、「業務が事業実施・施策管理になりつつあるため、地域の真のニーズに沿った施策化」などがあげられております。

これらの課題を踏まえ、今年度、当会においては、政令指定都市・中核市・特別区部会が中心となり、2040年を見据えた令和における保健師の地区活動の推進に関する調査研究事業を実施し、保健師の地区活動のあり方を考察することとしております。

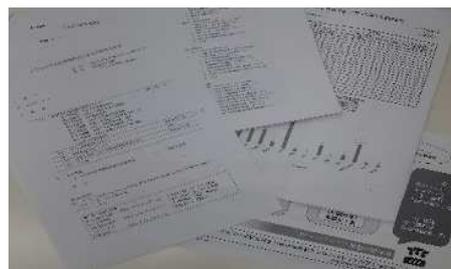
保健師活動指針については、令和6年度保健師中央会議において、厚生労働省 後藤保健指導室長が「改正する」と仰っておりました。ついでには、地域で活動している保健師が考えている「保健師とは何か」、「保健師でなければできないこと」、「未来を見据えてどのような活動が必要なのか」などを改めて各自が意識し、言語化して社会に向け発信していく必要があります。私たち、そして次世代の保健師たちが生き生きと活動できるよう取り組んでいきたいと思っております。

本日の議題は、代議員総会と令和8年度に向けた国への要望に関することとなっております。忌憚のないご議論のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 第46回代議員総会について

令和6年11月9日(土)に福井県会場(織協ビル)とWebによるハイブリット方式で開催される代議員総会の議案(案)及び運営等について内容説明があり、記載事項に間違いがないかなどの確認を行いました。



午後の部：研修会

基調講演

「次期統括保健師の育成～管理期に向けた中堅期の人材育成～」

国立保健医療科学院 生涯健康研究部 主任研究官 茂木 りほ 氏

実践報告①

「管理期に向けた中堅期の育成～中堅期保健師の自己効力感を高める働きかけ～」

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課地域保健推進監 池田 裕美 氏

実践報告②

「管理期に向けた中堅期の育成～管理期のコンピテンシーモデルの作成の取り組み～」

大阪府健康医療部健康医療総務課 課長補佐 田中 佐代子 氏

(2) 総会開催方法について

今年度も事前の書面協議及び当日の会場とWebによるハイブリット方式で代議員総会が開催されます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度以降は「書面で意思表示したものを出席者としてみなす」というみなし規定(第18条4)で開催してきましたが、代議員が議案説明を聞き質疑応答を経た議決を得る形となっていないことや、ICTの普及を踏まえた電子投票等を活用した開催方法について、整理する必要があります。

従来と異なる開催方法とした場合は、規約等の改正についても検討する必要があります。そのため、今後、理事会の中で整理等を進めていくことになりました。

(3) 令和8年度に向けた国への要望事項の検討

令和7年度に向けた国への要望を5月に提出しましたが、国の政策や予算に反映が難しい時期であることが分かり、令和8年度の要望は時期を早めることとし、8月下旬に各支部、委員会に要望について意見照会を行い、たくさんのご意見をいただきました。



令和8年度要望は、総花的な内容ではなく、「日頃の活動や調査研究結果などによる課題をもとに根拠を明確にし、意見を提出する」、「エビデンスを踏まえて要望(案)を作成する」など、重要度や優先度等を踏まえ精査した上で、全体

的な枠組みを考え要望書を作成し、11月の拡大常任理事会で要望案を検討していく予定です。

現時点では、各支部、委員会でいただいたご意見を基に、①人材育成（継続要望）、②健康危機管理（ICTの活用や人材確保も含め検討）、③母子保健に関する要望案をまとめていくことになりました。

3 報告事項

令和6年度地域保健総合推進事業について

第1次調査を行い、55支部3部会、82事例（うち78事例公表同意あり）の事例提出がありました。現場の保健師活動のリアリティーがあり、説得力のあるものが提出されています。この中から、保健師の今後の地区活動に生かせる事例ということだけでなく、自治体の規模、分野のバランスを考慮し、8事例を第2次調査（インタビュー調査）に選定し、9月からインタビューを行っており、11月には調査が終了する予定です。

整理・分析の方向性としては、82事例をカテゴリー毎に整理し、「2040年を見据えた保健師の地区活動」として提示するとともに、インタビュー結果を「住民の健康づくりに寄与した地区活動のプロセス」として、保健師のどのような活動や着眼点から、保健師の技がそこに結びつけられたのかというところを抽出してまとめていく予定です。

調査事例は、それぞれの地域の状況に立脚した保健師の地区活動が展開されていて勉強なると報告がありました。



4 その他

全国保健師長会のホームページについて

ホームページにアクセスすると「このサイトは安全ではない」とメッセージが表示される自治体があります。

現在、全国保健師長会のホームページのURLはhttp://で始まっていますが、https://で作成するサイト、SSL形式のサイトに変え、セキュリティーレベルを上げる対応を行うこととなりました。

5 閉会

公衆衛生看護活動に有益な **最新** 情報を配信中！ **全国保健師長会ホームページ** <http://www.nacphn.jp/index.html>
★全国保健師長会ニュースは、ホームページの「こんな活動をしています」 - 「理事会・拡大常任委員会・常任理事会報告」のページに掲載しています。

（作成：広報委員会）